

まちの史跡めぐり……(86)

町文化財専門委員 石瀧 豊美

古新聞切抜帳から…(4)

=福岡日日新聞と福陵新報・九州日報=

明治時代の新聞から、当時の須恵村関係の記事を掲載していきます。

◆ ◆

明治39年2月26日(九日)

●博鉄と沿線の炭坑(一)

博多湾鉄道会社の状況は、須恵新原間に續て、新原宇美間延長線の開業に依り、多少の変化を呈したると、炭況未曾有の好景気、及び平和克復後の株式、殊に鉄道株の活気を呈したるため、一般の注目する所となり、同社株式の如き、当初一株六円位のもの、現今は十七八円に騰貴し居れり。而して同社現在の運炭車は三十二台、同製造中のもの二十五台、客車二、三等二台、機関車三個あるが、今其の現況の一斑、及び其沿線に於ける炭坑の状況を記すれば左の如し。

▲須恵新原間開業後の成績

同区間は海軍採炭所の出炭運搬に便する為め、昨年六月より軽便軌条を本軌道に改めたるものにして、積込の設備等漸次完備したれば、同所に於ける出炭の増加に伴ひ、其効果は著大なるべし。其他採炭所用品の従来

車力にて輸送せられたるものが、全部汽車輸送となりたるが如き、直接の影響なれども、元来人口稀薄の地にして、産物もなければ、採炭所関係以外、未だ著しき効果なし。

◆ ◆

明治39年2月28日(九日)

●博鉄と沿線の炭坑(三)

▲新原宇美間開業の成績

元来粕屋炭は、海浜を去るに随ひ、炭質炭層共に良好なるが如く、即ち新原宇美付近を以て、最も有望のものとする。同区間は、或有力なる坑主との特別契約に依り急施したるものにして、其出炭現時一日四五十噸に過ぎざるも、近き将来に於て著しく増大すべく、尚他に有望なる礦区あり。同線敷設と共に、開発の機運に向ひたれば、宇美駅よりの送炭は全線に冠たるものあるべし。其他駅の付近に、有名な宇美八幡宮あり。参詣人の九鉄線雑餉限を経由したるもの、同社線を経由すること、現に本年一月降誕祭の如き、臨時列車を増発したるも、各列車満車の盛況なりしを以て見れば、乗客賃に於ても大に囑望するに足るべし。

▲桑原炭坑 (略)

▲植木炭坑 須恵駅構内に棧橋を有し、汽車積の設備も完全し、粕屋郡に於ては有力なる炭坑なるも、嘗て採掘せし炭層は殆ど尽き、他層のものを採掘の計画にて、過般来仕練中なりしものも大に進捗し、目下二十万斤位を採掘せり。不日三十万斤に上すこと、敢て難事にあらざらんとす。本坑も亦博多方面に販路を有し、其一部分を九州鉄道の燃料に供給しつゝ、ありと雖も、将来は主として西戸崎に輸送するに至るべし。

▲三河炭坑 (略)

▲上須恵炭坑 近日の着手に属し、当時一日一万斤宛採掘し居ると雖も、小規模の経営なれば、四五万斤以上の出炭は望なきが如し。其他近來炭坑の活発なるに際し、須恵附近には数ヶ所に「ボーリング」をなせるものあり。其成績未だ明確ならず。

明治39年5月6日(九日)

▲糟屋郡須恵村

にては、去月廿九日同村尋常校に於て、故嶋田陸軍大佐以下四名の招魂祭を執行す。式了りて、遺族及び参

拜軍人一同に茶菓の饗応をなし、翌三十日及び一日の両日は祝賀会を開き、吉松尚武会長の式辭に次ぎ、同郡長、採炭所長、警察署長外数氏の祝辭、及び軍人總代安河内一等主計の答辭ありて、宴会に移り、余興には景品入の餅投、曳台手踊及び奏樂等あり、非常の盛況なりし。

明治40年3月31日(九日)

●県学事彙報 (略) ▲粕屋郡にては須恵、勢門、多々良、小野、新宮、相島の六尋常小学校に高等小学校第一、第二学年の児童を收容すべき、仮教場を設置すること、し、尚須恵尋常校舎を増築の筈なり。

明治40年4月28日(九日)

●新原炭山拡張 福岡県粕屋郡須恵村の海軍採炭所附属の新原炭山は、□期議会に於て拡張經費六十七万七千八百四十円を可決したるを以て、拡張工事に着手する為め、既に其諸般の材料を蒐集せるが、本年度に於て要すべき經費の總額は、二十九万八千六百七十円なりと云ふ。

久我記念美術館

6月企画展 6月5日(土)~27日(日)
(月曜休館・入場無料)

あお やぎ え き こ 青柳 栄生子 展

6月の久我記念館は、5日から27日まで「青柳栄生子展」を開きます。青柳さんは、平成13年に一度個展を開かれていますので、今回が二度目となります。原色、特に「赤」を基調とする作品は、見る人に鮮烈な印象を与えます。

青柳さんは、福岡市西区在住の洋画家です。高校生の頃に油絵をはじめ、22歳の時に県展に初入選し、それが転機となって本格的に絵画の道を歩くことになりました。現在は、福岡市内のギャラリーなどで個展を開いています。



“午後のカルテット” 油彩 1998年
(福岡シティ銀行 プロムナード・コンサート 表紙)



SILK ROAD 油彩・コラージュ・画布
1980年

— 略 歴 —

あおやぎ えきこ

1940 福岡市生まれ

1956 油彩をはじめ

1962 県展初入選 独立展初入選 西部女性美術展入選
市美展、県展、西部女性美術展 等で入選、入賞

個展16回

福岡県美術協会会員
福岡市美術連盟会員
福岡文化連盟会員

5月の企画展

5月3日(月)から23日(日)まで『伴信行 書展』を開催します。